

令和 7 年度 墨田区感染対策連絡会 実施報告

1 墨田区感染対策連絡会について

墨田区感染症予防計画に基づき、区内医療機関等の感染対策担当者のネットワーク構築（相談・情報共有の基盤構築）平時からの地域の感染症対策向上及び有事に備えた連携体制を確保することを目的として、保健衛生協議会の下部組織として、令和 6 年度より設置した。

2 委員構成

区内で入院設備を有する 12 病院に所属する感染制御・管理担当の専門職（看護師 11 名・臨床検査技師 1 名）で構成。令和 7 年度より医療機関と介護施設との連携強化、地域の介護施設の感染対策向上を目途として、高齢者入所施設の従事者 2 名を委員とした。

3 実施日時

（１）第 1 回墨田区感染対策連絡会：令和 7 年 6 月 23 日

（２）第 2 回墨田区感染対策連絡会：令和 7 年 12 月 8 日

4 連絡会議事の要約

連絡会では、区からの情報提供のほか、グループに分かれて、テーマに沿って感染対策についての課題の抽出や議論、意見交換も実施している。グループ毎に出た発言内容は以下のとおり（一部抜粋）。

（１）第 1 回墨田区感染対策連絡会

ア テーマ：区内医療機関・施設における麻しん対策（平常時の備え）について

- ・入職時に抗体価検査（麻しん・風しん・水痘・ムンプス）を実施している。
- ・抗体価カードを作って抗体価を常に確認できるようにしている。

イ テーマ：区内医療機関・施設における感染対策に係る教育・研修、連携について

- ・年 2 回の法定研修以上行っているところは少ない。実技を中心に、PPE の着脱、手指消毒の方法などを行っている。
- ・感染症シミュレーション研修を職種ごとに月 1 回行っている。
- ・ランチョンセミナーの形にして 30 分程度でできる内容で組み立てるなど工夫している。
- ・特に医師を交えた訓練となると、時間の確保が難しい。
- ・動画配信の形でいつでも情報を得られるように工夫している

（２）第 2 回墨田区感染対策連絡会

ア テーマ：関係機関との連携について

- ・連携加算を取っている施設間では、ラウンドやメール・電話による相談などを実施している。また、区が行っている高齢者施設サーベイランスのアラート機能を使って病院と高齢者施設とで連携している。

- ・連携加算を取っていない場合でも研修会を実施している。
- ・本連絡会を通じて連携加算を知った高齢者施設もあり、現在、加算を取るための準備を進めている。

イ テーマ：区や医療機関等の課題について

- ・区などからの情報を受け取ることができない。
- ・医療機関同士がスムーズに情報共有できると良い。
- ・高齢者施設にとって、病院や保健所の敷居が高いので、本連絡会のようなものに多くの施設が参加できる環境があれば良い。
- ・各医療機関等に外国籍の方が増えており、その方々がわかる共通マニュアルがあると助かる。

5 研修会の実施について

(1) 目的

医療機関等において実践している感染対策などに関するラウンドを実施し、地域の感染対策向上の一助にする。

(2) 日時及び場所

- ・第1回墨田区感染対策連絡会研修会
令和7年7月14日 場所：東京曳舟病院
- ・第2回墨田区感染対策連絡会研修会
令和7年10月23日 場所：介護老人保健施設「ベレール向島」

6 今後の予定

連絡会委員合同での感染症研修会や地域の感染対策の課題を議論し、引き続き、地域の感染症対策向上と連携体制の確保を行う。

7 添付資料

墨田区感染対策連絡会運営要綱